

キタネグサレセンチュウを強力に抑制する

アウェナ
ストリゴサ

ソイルセイバー



土を肥やす!!
見よ!!
この根量



(左)ソイルセイバー (右)他品種



(左)ソイルセイバー (右)他品種

特性

- ①アウェナ ストリゴサの改良種で、生産はアメリカで行っています。
- ②根量が多く、根張りが強いので地力増進に優れます。
- ③倒伏に強く、穂ばらみ期にエピクチクラワックスが出現します。
- ④葉幅が広く茎太で雑草抑制効果が高いです。
- ⑤春播きすることで、より一層の乾物収量が得られます。

(②～⑤の表現は従来のアウェナ ストリゴサとの比較表現です)

※「アウェナ ストリゴサ」とは、これまで一般的に「えん麦 野生種」として表現したものと同一意味です。

縁の下の力持ち!その名は

アウェナ
ストリゴサ

ソイルセイバー

利用用途

●キタネグサレセンチュウ対策

ダイコンやニンジン、ゴボウなどを加害するキタネグサレセンチュウに対し、強力な密度抑制効果があります。

●アブラナ科根こぶ病対策（おとり効果）

アブラナ科作物の前作に作付し、アブラナ科根こぶ病の休眠胞子の発芽を促しますが、発病はせず菌密度を軽減させます。※

●バーティシリウム萎凋病対策

バーティシリウム萎凋病を助長するキタネグサレセンチュウを抑制し、結果発病を抑制します。

※オラクル以外の根こぶ病殺菌剤を併用すると、おとり効果が期待できません。

◎播種期・すき込み期

地 域	播種適期	すき込み期
北海道 (道南・道央) (道北・道東)	5月～6月 (春播き)	播種後 60～70日後 (出穂始めに) (すき込み)
	8月 (晩夏播き)	
東北 ↓ 中部高冷地	4月～6月 (春播き)	
	8月～9月上旬 (晩夏播き)	
中間地 ↓ 暖地	3月～5月 (春播き)	6月～7月
	8月下旬～9月中旬 (晩夏播き)	年内すき込み
	10月～11月 (秋播き)	翌春すき込み

播種量

- ・10～15kg／10a
- ・ソイルセイバー播種後は、覆土・鎮圧を行ってください。
- ・センチュウ被害の常発畑では、密度抑制効果を高めるために15kg／10aを目安とします。また、雑草が発生すると有害センチュウを増やす可能性があるため、雑草対策を十分に実施してください。

施肥量

- ・通常は無施用ですが、肥沃度の低い土壌ではN－P－Kで各4～5kg／10aを施用します。

すき込みと腐熟期間

- ・すき込みは出穂始めを目安に行います。後作はすき込み後20～30日後に播種、または定植します。その間に2～3回耕起し、腐熟を促進します。

◎ソイルセイバーの キタネグサレセンチュウ抑制効果

(2003年 カネコ種苗(株)くにさだ育種農場)

品 種 名	キタネグサレセンチュウ密度 (頭／20g生土)		
	播 種 時	すき込み時	減少率(%)
ソイルセイバー	65.3	4.4	93
ニューオーツ	28.7	2.8	90
休 閑	47.0	14.9	68

試 験 地：長野県南佐久郡南牧村

試験期間：8月3日～10月10日

播 種 量：10kg／10a

無施肥、前作グリーンボール

●お求めは…

 **カネコ種苗株式会社** 本社・緑飼部
〒371-8503 群馬県前橋市西善町689-2
☎027(253)0561 FAX027(266)3221